

令和6年度

# 羅臼町立春松小学校 学校改善プラン

(前期)

## I 児童の姿を踏まえた学校改善の柱

学校教育目標

ふるさとに誇りをもち、進んでかかわる子

～子どもの『今』を充実させる学校～

柱1

児童の『なぜ』『どうして』から『考えたい』『やってみたい』を引き出す

(主体的に学ぶ)

柱2

ICTを使いこなして、学習内容を身に付ける

(基礎基本の習得)

柱3

児童の『できる』を最大限活用する

(自己有用感を高める)

子どもたちの「なぜ、どうして」の勘どころはそれぞれに違いがあります。学習課題を「なぜ、どうして」に依拠することで、子どもたちは主体的に学び始めると考えています。ICTを使いこなし基礎基本の確実な習得を狙い、学習活動全般を通して児童の『できる』を最大限に活用することで、自己有用感の高まりとともに子どもの『今』を充実させ、学力の向上を目指す学校にしていきます。

## II 検証サイクル

実態把握・・・

児童の様子（各種調査結果、分析、日常の観察）  
保護者、地域の声

計画・実行・・・

校務推進会議、校内研修  
PTA、学校運営協議会、学校ボランティア、地域の人材の協力

評価・・・

子どもの姿で評価（日常的な対話による評価、学校評価）  
→ 教員の指導力向上へ

改善・・・

実践、評価後にカリキュラムや提案文書の書き換え  
→ 即、翌年度の計画に